

「印旛沼の環境保全対策事業の早期実施に関する」

要 望 書

千	葉	市
船	橋	市
八	千代	市
鎌	ヶ谷	市
成	田	市
佐	倉	市
四	街道	市
八	街	市
印	西	市
白	井	市
富	里	市
酒	々井	町
栄		町

印旛沼の環境保全対策事業の早期実施に関する要望書

千葉県下の13市町を流域に持つ印旛沼は、県営水道、工業用水及び農業用水の水源として、あるいは内水面漁業の場として、首都圏に残された貴重な自然の宝庫であり、人々の憩いの場として親しまれている。

千葉県においては、6期にわたり湖沼水質保全計画を策定し、印旛沼流域水循環健全化計画と整合を図りながら、国、県、流域市町、関係機関、関係団体による水質改善のための様々な取組の推進を図っている。

しかし、沼の水質は環境省が発表した最新の全国湖沼水質測定結果によると、平成23年度はCODで環境基準の3mg/lを大きく上回る11mg/lと、残念ながら全国ワースト1位である。

印旛沼は治水と利水により一定の水位を保つため、その水質は、通常、流域での降水量の多寡と排水量に密接に関係している。

とりわけ、降水がきわめて少ない年は滞留時間が長引くとともに、夏場の強い日差しによる水温の上昇と相まって、船の運航に支障をきたすほど堆積した底泥から栄養塩類の溶出などの影響を受け、植物プランクトンの大量発生を招き、水質を悪化させている。

このような状況に鑑み、県は、第6期湖沼水質保全計画や印旛沼流域水循環健全化計画の主旨を改めて認識し、国や流域市町と緊密な連携を保ち、下記の対策を実施していくことを強く要望する。

1 流域対策及び水質浄化対策事業の着実な推進

印旛沼の汚濁負荷量の過半数を占める面源系に対する対策を促進するため、効果的な対策に係る調査研究を行うことに加え、市町が取り組みやすくするための法制度の実施を国に要望すること。

また、湖沼水質保全計画に位置付けられている国、県が実施する水質浄化対策については、今後とも着実な推進を図るとともに、流域市町は最大限の協力をすることを踏まえ、国に対し必要な事業予算の確保を要望すること。

2 印旛沼本体の対策事業

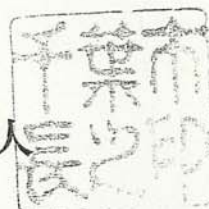
沼本体の対策事業として、増殖したプランクトンの削減となる「堆積した底泥の浚渫」及び「水の流動化対策」について、早期に事業化を国に要望すること。

以上、印旛沼流域の13市町長の連名により要望書を提出する。

千葉県知事 鈴木 栄 治 様

平成25年 5月14日

千葉市長 熊谷 俊人



船橋市長 藤代 孝七



八千代市長職務代理者

八千代市副市長 竹之内 正一



鎌ヶ谷市長

清水

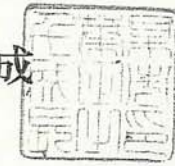
聖士



成田市長

小泉

一成



佐倉市長

蕨

和雄



四街道市長

佐渡

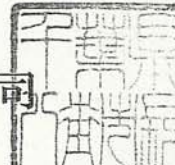
齊



八街市長

北村

新司



印西市市長

板倉

正直



白井市長

伊澤

史夫



富里市長

相川

堅治



酒々井町長

小坂

泰久



栄町長

岡田

正市

